

# 副市長レビュー（春）調書

1 部局名 (課名)	こども家庭部 (幼児教育・保育課)
2 協議事項 (案件名)	利用調整基準点を優先する入所選考方法への見直しについて
3 背景・現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の入所選考にあたり、保育施設利用調整基準表により保育の必要性を点数化し、申請書の「第1希望施設」を優先に行っている。保育所等の施設整備が進み、選択枠が増えてきたため、地域、歳児、施設の状況などにより申込みにはらつきが生じており、低い点でも入所できる場合がある。</li> <li>・入所選考の見直しの実施については、平成29年2月議会質問に対する答弁で言及している。</li> </ul> <p>[現行方式(第1希望施設優先)のメリット]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・希望する施設に入所できる可能性が高い</li> <li>・施設の状況等によっては低い点(例：求職中)でも入所できる場合がある</li> </ul> <p>[現行方式(第1希望施設優先)のデメリット]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・希望者が多い施設等は、他の施設なら入所できる点数であっても、保留となるケースがある</li> </ul>
4 検討経過・課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 優先順位がより明確な「基準点優先」方式への見直し <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所入所基準表</li> <li>・保育システムへの反映</li> <li>・区をまたぐケースや同点時の人的処理方法など選考体制の構築</li> </ul> </li> <li>2 現在の選考方法が浸透していることから、保護者への周知の期間確保</li> <li>3 現行の保育システムの再構築の必要性について</li> </ol>

<p>5-1 方向性の提案</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平成 30 年 4 月入所分からの変更を目標に研究・検証作業する</li> <li>2 11 月の申込受付に向けて、9 月から周知を実施していく</li> <li>3 システム再構築の必要性や規模、予算の確保等について検証する</li> </ol>	
<p>5-2 論点 方向性の決定に向け議論する事項</p>	<p>○見直しの方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基準表の定期的見直し(毎年実施)は行うが、今回は、基本となる保育施設利用調整基準表の基準点を変更しない。</li> </ul> <p>※幼稚園教諭として市内の保育施設または幼稚園に就労する場合の加点は設ける (H28.11 月議会答弁関連)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1～第 3 希望までの記載を原則とする</li> </ul> <p>○同点時等には人的処理が必要となるため、現行手順を再構築する</p> <p>○システム等の改修の必要性について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現行システムは第 1 希望施設優先でデータ化しているが、基準点優先の選考方法に対応したシステムへの改修の必要性について検証する。</li> </ul>	
<p>6 結果</p>	<p>■提案どおり進める</p> <p><input type="checkbox"/>サマーレビューで審議</p> <p><input type="checkbox"/>提案内容を一部見直して進める</p> <p><input type="checkbox"/>再度、調査研究等を行い検討</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p>	<p>具体的内容</p>
<p>7 その他</p>		